

一宮市三岸節子記念美術館 特別展

名品と出会う

— 企業コレクションによる日本近代洋画展 —

青山義雄、麻生三郎、有島生馬、石井柏亭、伊藤廉、井上長三郎、猪熊弦一郎、梅原龍三郎、刑部人、笠井誠一、金山平三、川島理一郎、熊谷守一、小磯良平、小糸源太郎、児島善三郎、小林和作、斉藤与里、里見勝蔵、清水登之、鈴木保徳、須田国太郎、曾宮一念、高島達四郎、鳥海青児、津田正周、東郷青児、中川一政、中川紀元、中沢弘光、中山巍、野口弥太郎、林武、福沢一郎、藤島武二、牧野虎雄、松田文雄、満谷国四郎、森芳雄、安井曾太郎、山口薫、和田英作
全61点



1



2



3



4

1. 和田英作《静物(果物)》1920年
2. 藤島武二《海》1932年
3. 児島善三郎《虞美人草》1939年
4. 須田国太郎《風景(樹間)》1947年頃

同時開催 [常設展]

三岸節子 ヨーロッパへのいざない

三岸節子は、49歳のときに初めてフランスを訪れ、その後63歳から20年あまりをヨーロッパで過ごしました。アトリエを構えたフランスや旅先で描いた風景画のほか、渡欧以前の作品もあわせて展示します。

一宮市博物館 特別展「没後60年 川合玉堂」 2017年10月14日(土)～11月26日(日)

博物館・美術館観覧券セット

一般1,000円、高校・大学生500円、小・中学生300円
特別展会期中、博物館および美術館受付にて販売

一宮市三岸節子記念美術館 <http://s-migishi.com>

〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南 3147-1 TEL 0586-63-2892 FAX 0586-63-2893

〈交通案内／公共交通機関をご利用の場合〉

名古屋駅より電車とバスで約40分!

- JR東海道本線にて「尾張一宮駅」下車、または名鉄名古屋本線にて「名鉄一宮駅」下車 (JR新快速・名鉄特急で名古屋駅より10～15分)。一宮駅西口の名鉄バスターミナル②番のりばから「起(おこし)」行きで約15分、「起工高・三岸美術館前」バス停下車、徒歩1分。[バスは約15分間隔で運行]
- 岐阜羽島駅(東海道新幹線)よりタクシーで約20分。



日本の近代化とともにめざましく発展した洋画は、海外の芸術運動を同時代的に吸収しながら成熟し、その誕生から半世紀を経た昭和戦前期には、多くの個性的な画家たちが活躍しました。本展は、公益社団法人糖業協会が所蔵する珠玉のコレクションを通して、独自の表現を切り開いた日本近代の洋画家たちの作品をご紹介します。人物や風景、花などを描いた数々の名品と出会うことで、西洋の文化の新たな潮流が押し寄せる中、日本の洋画家たちが見出した美意識と、それぞれの画家が求めた独自の表現を、あらためて見つめ直す機会としていただければ幸いです。

関連行事

講演会「画家から見た糖業協会コレクション」

※参加無料、事前申込不要

日 時／10月1日(日)
14:00～(開場13:30～)

講 師／絹谷幸二(きぬたにこうじ)氏
洋画家、文化功労者、日本藝術院会員、
東京藝術大学名誉教授



学芸員による展示説明

※要観覧券、事前申込不要

日 時／①10月9日(月・祝) 14:00～
②11月11日(土) 14:00～

おしゃべり鑑賞会 ～対話による鑑賞ツアー～

※要観覧券、事前申込不要

日 時／①10月21日(土) 14:00～
②11月3日(金・祝) 14:00～

せつこっくクラブ

「名品と出会う みんなで大きい木をかこう」

展示作品を鑑賞したあと、絵の具で大きな紙にみんなで1本の木を描きましょう。

日 時／10月14日(土) 13:00～15:15

対 象／小学生

参加費／無料

申込み／電話、または住所・氏名・年齢・TEL&FAX番号を
明記の上ハガキまたはFAX

締 切／9月30日(土) 必着【抽選】

